

口羽公民館だより

口羽地区の人口と世帯数 (2022/11/30 現在)

男性 309 人 女性 343 人 世帯数 328 戸

電話 : (0855) 87-0910

IP : 050-5207-6600



12月号 (発行2022年(令和4年)12月17日)

「これぞ公民館活動!」継続は力なり! 私の好きな言葉です

口羽通良の琵琶甲城に挑戦

11月12日(土)午前9時半から琵琶甲城の環境整備を行い、倒木や山頂の枯れ木で倒木の恐れがありそうな物を伐採しました。最初は肌寒い天候も頂上に近づくにしたがって、日が差して暑さを感じる天候でした。4月の第1回目の環境整備の時と比べると葉が落ちて少しですが見晴らしも良くなっています。



11月26日(土)には秋の琵琶甲城登山を行いました。「はすみ史楽会」会長の日高亘さんの説明を聞きながら、山城の図面を見て、扇状連続竪堀や虎口と土塁の裏の崖などを学びました。松川砦にも行ってみたいという声や、途中に看板があれば迷わなくなるという意見がありました。着実に進んでいきます。



口羽通良入門講座

11月23日(水)午後1時30分から口羽通良入門講座「志道から通良がやって来た」を開催しました。「はすみ史楽会」会長、日高亘さんを講師に、口羽通良は「志道」という名字で広島県の白木町の出身だと学び、元々の口羽氏がいたということを知りました。26日(土)の登山の事前学習として琵琶甲城についても学び、山城の基本構造についても学びました。



日本習字口羽公民館支部作品展

11月26日(土)〜12月2日(金)まで、口羽大福で昨年の開催を延期した「日本習字」口羽公民館支部開設25周年記念作品展を開催しました。過去には15、20周年と節目で開催し、今回も全町並びに、お隣の三次市作木町からも来館され、熱心に見学されました。「書」は日本古来の伝統でもあり、永年に亘って伝承されてきました。習字教室は現在も月1回の開催を続けており、この作品展は会員の方の日々の努力の積み重ねにより実現しています。まさに「継続は力なり」ということで社会教育における「生涯学習」を体現されています。生涯現役の公民館魂、ここにあり!

また、習字教室講師戸田淳さんは11月3日に邑南町教育文化功労表彰を授与されました。誠にありがとうございます。次は30周年!益々のご活躍をお願いします。





口羽小学校の綿摘み交流会を取材
 11月22日(火)に口羽小学校が全校で行っている綿摘み交流会を取材しました。西之原地区の畑をお借りして植えていた綿を摘みました。ねらいの中心は「仲間作り」で、「わたしからつながろう たのしくひろげよう」が皆さんから伝わりました。これまででは都合がつかず、今回初めて取材させていだきました。綿から種を取る作業を一緒にしながらおしゃべりをしました。「社会教育にもこういう時間が必要なのでは」と新たな気づきを得ました。

ひらめき学級が開催されました

11月28日(月)13時半から認知症予防教室「ひらめき学級」が開催されました。今回は保健課の出前講座を利用して「健康寿命を延ばそう」と題し、腰痛や肩こり、坐骨神経痛について、動脈硬化を防ぐにはといった事を保健師から学びました。コロナウイルス対策も万全の健康講座をしていただき、皆さん興味津々で話を聞きました。



図書の入替えがありました

羽須美図書館分館の県図書と入替えを行いました。ぜひおいでください!

— 1月行事予定 —

- ※毎月1日「交通安全県民の日」
- 4日(水) 仕事始め
- 11日(水) 民児協羽須美支部会
- 12日(木) 移動職業相談
- 13日(金) あっちゃんの寺子屋
口羽公民館活動推進協議会
- 14日(土) 花まる算数教室
- 15日(日) あるこう会
- ※毎月19日「食育の日」
- 21日(土) 口羽通良入門講座
- 23日(月) ひらめき学級
- 26日(木) 移動職業相談
- *毎週火曜日 グラウンドゴルフ練習会
リゾートセンター広場又はわんぱく館

シニアエラボ「教室」

12月2日(金)午後2時から開催しました。今回は習字教室の作品展開催時期に行いましたが、皆さんご理解されて行いました。作品展の受付の方も興味深々で、「こない運動を皆さんでされてるんですね」と感心されました



新年のあっちゃんの寺子屋

1月13日(金)午後1時半から「あっちゃんの寺子屋」を開催します。新年最初の講座は「20回も歌われなかった平成の名曲」と題し、「学び舎パンセ」代表、竹部敦司さんから歌の作られたいきさつ、背景を知り、感動を得ます。

口羽通良入門講座第2回を開催します!

1月21日(土)午後1時半から「通良が『御四人』に加えられた」と題し、はすみ史楽会会長、日高亘さんを講師に迎え、宗林寺に眠る琵琶甲城主、口羽通良の入門講座第2回目を行います。毛利元就亡き後に「琵琶甲城主」口羽通良が『御四人』に加えられることを学びます。

【編集後記】

今年もあと僅かとなり、令和がもう4年も経つことに時の早さを実感します。サッカーW杯は目標まであと1歩でしたが、森保日本代表監督がサンフレッチェ広島の前選手、監督であったことには毛利元就との関係を感じます。三本の矢は今も残り、歴史の連続性でサッカーとも繋がっていく。毛利家の「御四人」口羽通良の遺産の継承もチームワークで参ります。今手景祐